



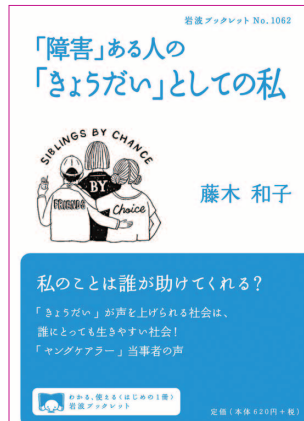
『「障害」ある人の「きょうだい」としての私』

岩波ブックレット 六八二頁

藤木和子 著

ケアラー

自治体の新年度予算を見ていたら、大きな特徴があることに気がついた。多くの自治体で、ケアラー・ヤングケアラー支援策が予算化されている。国の予算・補正予算でも同様だ。二二年度から三年間はヤングケアラー集中取り組み期間だ。日本ケアラー連盟の調べによれば、ケアラー支援条例の制定も進む。二〇年の



埼玉県条例に始まり、今年の六月には少なくとも一一の条例ができあがる。並行して障害のある人の兄弟姉妹（ひらがなで「きょうだい」と表記）の固有の問題やケア、サポート、交流の課題も明らかになってきた。

本書の筆者は障害のある弟の「お姉ちゃん」として育ち、「きょうだい」という言葉に出会ったとき「自分の感覚をこんなにも言い表してくれる言葉」と衝撃を受ける。後に弁護士となる。あわせて、シブコト（障害者のきょうだいのためのサイト）、SODAの会（聞こえないきょうだいを持つ仲間の会）、全国きょうだいの会などの設立や運営に関わる。弁護士として旧優生保護法による強制不妊手術被害裁判を闘う。

シブリング  
「きょうだい」でヤングケアラーであった著者。でも、取っ組み合いのけんかも

する姉弟。ケアや家族介護に閉じ込めるのではなく、「きょうだい同士は対等」「社会全体で助け合いたい」がモットーとなる。さらに、きょうだい双方の幸福追求権、自己決定権という憲法原理をこの社会に内実化させたい。

会の名前シブコトの「シブ」、SODAの「S」は、Sibling（シブリング）きょうだい（に由来する。日本語の「兄弟姉妹」という思いつきり男女別名簿のような言い方を変えられないものだろうか。ネットで見ていたら日本語にも「はらから」（同じ母親のお腹）という言い方があると。しかし、書評子としては却下。私が最後に使った用例は「起てはらからよ、行け」で、到底「きょうだい」ではない。

アメリカでは、四月一〇日は「きょうだいの日」という動きが広がっているそうだ。来年試してみよう。

評者 菅原敏夫 本誌編集委員

|             |   |    |
|-------------|---|----|
| グラビア        | 地域を支える人 猪熊寛之さん・群馬県渋川市                     | 1  |
| 発掘！地域の希望のタネ | 〈ほたるかご〉山口県下関市                             | 5  |
| 給食のじかん      | 〈赤米おこわ〉岡山県総社市 能勢祥子                        | 6  |
| 書評          | 藤木和子 著『「障害」ある人の「きょうだい」としての私』菅原敏夫          | 8  |
| 焦点          | こども・若者ケアラー（ヤングケアラー）の実情と支援—神戸市の取り組みから 岡本和久 | 10 |

特集

復帰五〇年 沖縄からの視座

|     |   |    |
|-----|---|----|
| 座談会 | 日本復帰五〇年 沖縄の自己決定権を巡る現在地 新垣 毅                                       | 16 |
|     | 沖縄における自治のゆくえ —「決定権なき決定者」にさせているもの 熊本博之                             | 25 |
|     | 復帰っ子が振り返る この一〇年とこれからの一〇年 —復帰五〇年を迎えて 伊志嶺匡+仲間直樹+比嘉俊次+藤木晶敏+前泊美紀+前泊博盛 | 34 |
|     | 学徒から戦後世代へと受け継がれる 平和のバトン—ひめゆり平和祈念資料館のいま 普天間朝佳                      | 49 |
|     | 共同売店の変遷と現在—その理念と精神の可能性 宮城能彦                                       | 55 |
|     | 先人達の守り続けた伝統・文化を 未来に綱げる—与那原大綱曳 渡真利匡樹                               | 61 |

|             |                                      |    |
|-------------|--------------------------------------|----|
| 各県自治研活動レポート | 地域活性化の実践と コロナ禍での避難所運営の研究—奈良県本部 藤本恵多  | 68 |
| 連載          | 静岡自治研だもんで！② じちけんと出会って 佐野ひかる          | 70 |
| 短期連載        | 東京オリパラ 2020 と自治体の現場④ 前橋市を第二の故郷に 安藤光希 | 73 |
|             | —南スーダン選手団と過ごした一年九ヵ月                  |    |